

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成31年2月7日(2019.2.7)

【公開番号】特開2018-15368(P2018-15368A)

【公開日】平成30年2月1日(2018.2.1)

【年通号数】公開・登録公報2018-004

【出願番号】特願2016-149330(P2016-149330)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 4 G

【手続補正書】

【提出日】平成30年12月20日(2018.12.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

スタートレバーと、

複数のストップボタンと、

サブボタンと、

演出制御手段と、を有し、

演出制御手段は、促進報知演出と、応答演出とを実行可能とし、

スタートレバーの操作を受け付けた後に、促進報知演出を実行可能であり、

促進報知演出を実行中であって、ストップボタンの操作を受け付ける前にサブボタンの操作を受け付けた場合には応答演出を実行可能とし、

促進報知演出を実行中であって、サブボタンの操作を受け付ける前にストップボタンの操作を受け付けた場合にも応答演出を実行可能とする

ことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

スタートレバーと、

複数のストップボタンと、

サブボタンと、

演出制御手段と、を有し、

演出制御手段は、促進報知演出と、応答演出とを実行可能とし、

スタートレバーの操作を受け付けた後に、促進報知演出を実行可能であり、

促進報知演出を実行中であって、ストップボタンの操作を受け付ける前にサブボタンの操作を受け付けた場合には応答演出を実行可能とし、

促進報知演出を実行中であって、サブボタンの操作を受け付ける前にストップボタンの操作を受け付けた場合にも応答演出を実行可能とし、

促進報知演出を実行中に、所定のエラーが発生すると所定のエラーに対応したエラー報知を実行し、エラー報知を実行中であってサブボタンの操作の受け付けに基づく処理、又はストップボタンの操作の受け付けに基づく処理を実行可能とする

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

前記課題を解決するために、本発明に係る遊技機は、スタートレバーと、複数のストップボタンと、サブボタンと、演出制御手段と、を有し、演出制御手段は、促進報知演出と、応答演出とを実行可能とし、スタートレバーの操作を受け付けた後に、促進報知演出を実行可能であり、促進報知演出を実行中であって、ストップボタンの操作を受け付ける前にサブボタンの操作を受け付けた場合には応答演出を実行可能とし、促進報知演出を実行中であって、サブボタンの操作を受け付ける前にストップボタンの操作を受け付けた場合にも応答演出を実行可能とすることを特徴とする。

また、本発明に係る遊技機は、スタートレバーと、複数のストップボタンと、サブボタンと、演出制御手段と、を有し、演出制御手段は、促進報知演出と、応答演出とを実行可能とし、スタートレバーの操作を受け付けた後に、促進報知演出を実行可能であり、促進報知演出を実行中であって、ストップボタンの操作を受け付ける前にサブボタンの操作を受け付けた場合には応答演出を実行可能とし、促進報知演出を実行中であって、サブボタンの操作を受け付ける前にストップボタンの操作を受け付けた場合にも応答演出を実行可能とし、促進報知演出を実行中に、所定のエラーが発生すると所定のエラーに対応したエラー報知を実行し、エラー報知を実行中であってサブボタンの操作の受け付けに基づく処理、又はストップボタンの操作の受け付けに基づく処理を実行可能とすることを特徴とする。

また、本発明に係る遊技機の変形例は、図柄が付された複数のリールと、役抽選により当選役を決定する当選役決定手段と、前記複数のリールの各々に対応した複数のストップボタンと、前記複数のリールの作動を制御するリール制御手段と、遊技状態を移行させる遊技状態制御手段と、を有し、前記当選役決定手段による抽選結果には、ストップボタンの操作態様により入賞役の図柄組合せが有効ライン上に停止表示される確率が異なる複数の操作対応役の何れかが当選する特定役抽選結果を含み、前記リール制御手段は、前記特定役抽選結果となった遊技において、第1停止操作で第1リール又は第2リールを停止させるストップボタンが操作された場合に、ストップボタンの操作が前記特定役抽選結果に対応付けられた複数種類の押し順のうち所定の押し順で操作されたときは、第1の図柄組合せをタイミングによらず停止表示し、ストップボタンの操作が複数種類の押し順のうち前記所定の押し順とは異なる押し順で操作されたときは、第2の図柄組合せをタイミングによっては停止表示可能とし、第1停止操作で第3リールを停止させるストップボタンが操作された場合に、前記第3リールに対して所定のタイミングで停止操作がされたときは、第3の図柄組合せを残りのリールに対する操作タイミングによらず停止表示し、前記第3リールに対して所定のタイミングとは異なるタイミングで停止操作がされたときは、第4の図柄組合せを残りのリールに対する操作タイミングによっては停止表示可能とし、前記第1停止操作で前記第1リール又は前記第2リールに対する停止操作がされた場合の、前記第2の図柄組合せが停止表示される確率と、前記第1停止操作で前記第3リールに対する停止操作がされた場合の、前記第4の図柄組合せが停止表示される確率とが同一であり、前記遊技状態制御手段は、前記第2の図柄組合せ又は前記第4の図柄組合せが停止表示されたことを契機として前記遊技状態を移行可能とすることを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

また、本発明に係る遊技機の変形例は、図柄が付された複数のリールと、役抽選により当選役を決定する当選役決定手段と、前記複数のリールの各々に対応した複数のストップ

ボタンと、前記複数のリールの作動を制御するリール制御手段と、遊技状態を移行させる遊技状態制御手段と、を有し、前記当選役決定手段による抽選結果には、ストップボタンの操作態様により入賞役の図柄組合せが有効ライン上に停止表示される確率が異なる複数の操作対応役の何れかが当選する特定役抽選結果を含み、前記リール制御手段は、前記特定役抽選結果となった遊技において、第1停止操作で第1リールを停止させるストップボタンが操作された場合に、ストップボタンの操作が複数種類の押し順のうち所定の押し順とは異なる押し順で操作されたときは、非入賞の図柄組合せを停止表示可能とし、第1停止操作で第2リールを停止させるストップボタンが操作された場合に、ストップボタンの操作が複数種類の押し順のうち所定の押し順とは異なる押し順で操作されたときは、非入賞の図柄組合せを停止表示可能とし、第1停止操作で第3リールを停止させるストップボタンが操作された場合に、前記第3リールに対して所定のタイミングとは異なるタイミングで停止操作がされたときは、非入賞の図柄組合せを停止表示可能とし、前記遊技状態制御手段は、前記非入賞の図柄組合せが停止表示されたことを契機として前記遊技状態を移行可能とし、

次式の条件を満足することを特徴とする。

= =

但し、

：前記第1停止操作で前記第1リールに対する停止操作がされた場合に、前記非入賞の図柄組合せが停止表示される確率

：前記第1停止操作で前記第2リールに対する停止操作がされた場合に、前記非入賞の図柄組合せが停止表示される確率

：前記第1停止操作で前記第3リールに対する停止操作がされた場合に、前記非入賞の図柄組合せが停止表示される確率

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明に係る遊技機の変形例を以上のように構成すると、第1停止操作で第1リール又は第2対して停止操作をするか、第3リール対して停止操作をするかで、遊技方法（押し順か目押し）を選択することができる。このとき、第2の図柄組合せ又は第4の図柄組合せ（これらは非入賞の図柄組合せに相当する）が停止表示されると、遊技状態が移行されるが、これらの図柄組合せが停止表示される確率は同一であるので、押し順で遊技を行っても、目押しで遊技を行っても有利度、利益に差が生じない。